

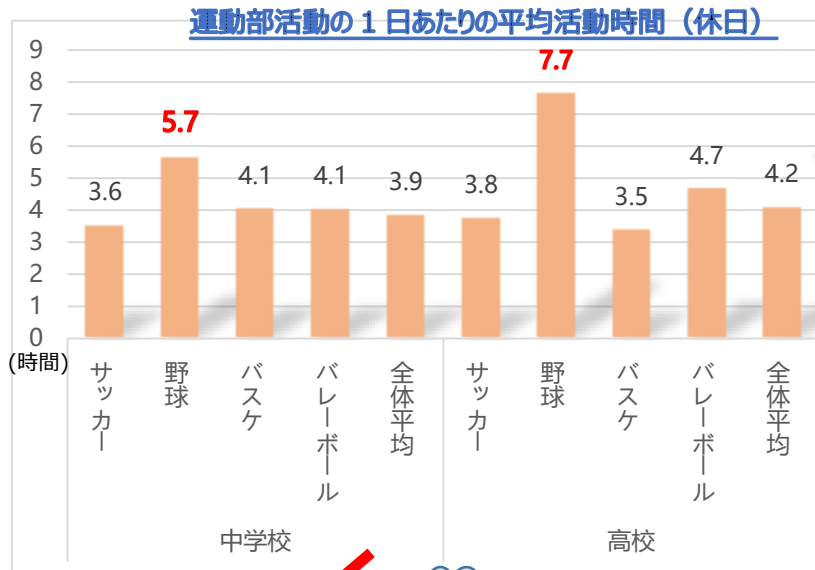
## スポーツライフ・データ活用セミナー開催のご案内

◇スポーツライフ・データとは

笹川スポーツ財団は、スポーツ・フォー・エブリワン社会の実現に向けた基礎資料として、成人（18歳以上）、青少年（12～21歳）、子ども（4～11歳）を対象に「スポーツライフに関する調査」を実施しています。

調査結果は「スポーツライフ・データ」「子ども・青少年のスポーツライフ・データ」としてまとめ、「する」「みる」「ささえる」スポーツの普及・啓発に役立てています。

### ◇活用例①◇



中学校、高校ともに休日の野球部の練習時間が他の運動部活動より圧倒的に長いことがわかります。

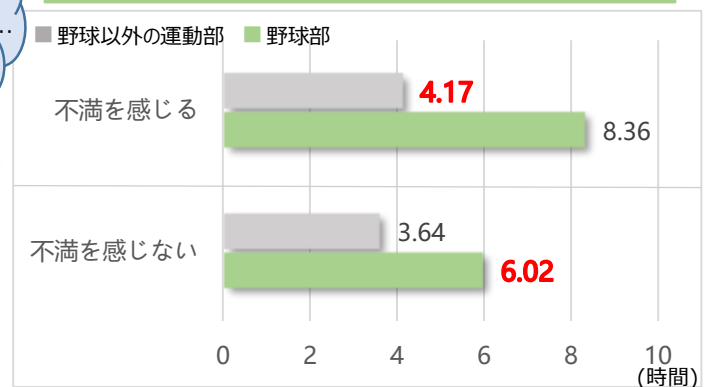
きっと部員たちは練習時間が長いことに不満をもっているだろう…

### 今入っている部活への不満（野球部）

学校期	休日が		練習時間が長すぎる
	少なすぎる	遊んだり勉強したりする時間がない	
中学校	38.1%	28.6%	14.3%
高校	52.2%	43.5%	21.7%

思ったよりも少ないいな…なぜ？

### 休日の練習が長いことへの不満の有無と平均活動時間



野球以外の運動部で休日の練習の長さにご不満を感じている部員は1日平均4.17時間活動しています。それに対し野球部は不満を感じていない部員でさえ1日平均6.02時間活動しています。

練習時間に対する感覚にずれが生じていると考えられます。感覚がずれてしまった原因を追究する必要がありそうですね。

皆さんもご自身が経験してきた部活の分析をしてみませんか？他の部活や全体平均と比較をすることで色々な課題や問題が浮き彫りになりますよ！

◇笹川スポーツ財団はスポーツライフ・データのローデータを無料で貸し出しています◇

URL : <http://www.ssf.or.jp/research/data/tabid/207/Default.aspx>

### セミナーの詳細

日時：2018年9月29日（土）14:00～14:30

場所：神奈川大学 横浜キャンパス 8号館 11教室

内容：「スポーツライフ・データの活用方法」

笹川スポーツ財団の研究員が実際に分析ソフト（SPSS）を使いながら、卒論や今後の研究活動に役立つスポーツライフ・データの活用方法を解説します！

テーマ例：「スマホ不安とスポーツの関係」「運動部活動の種目別に見た部員の悩み」など

※テーマは当日変更する場合があります

◇活用例②◇

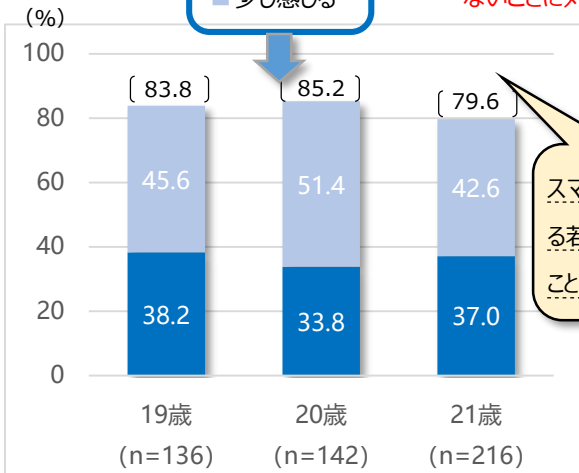
「スマホ不安」感じますか？

※「スマホ不安」

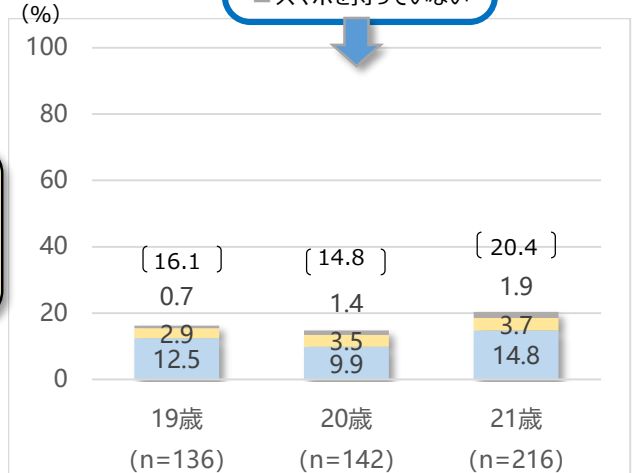
→普段の生活の中で身近にスマホがないことに対する不安

■ とても感じる  
■ 少し感じる

■ あまり感じない  
■ まったく感じない  
■ スマホを持っていない



スマホ不安を感じる若い世代が多いことがわかります。



( ) 内は合計値

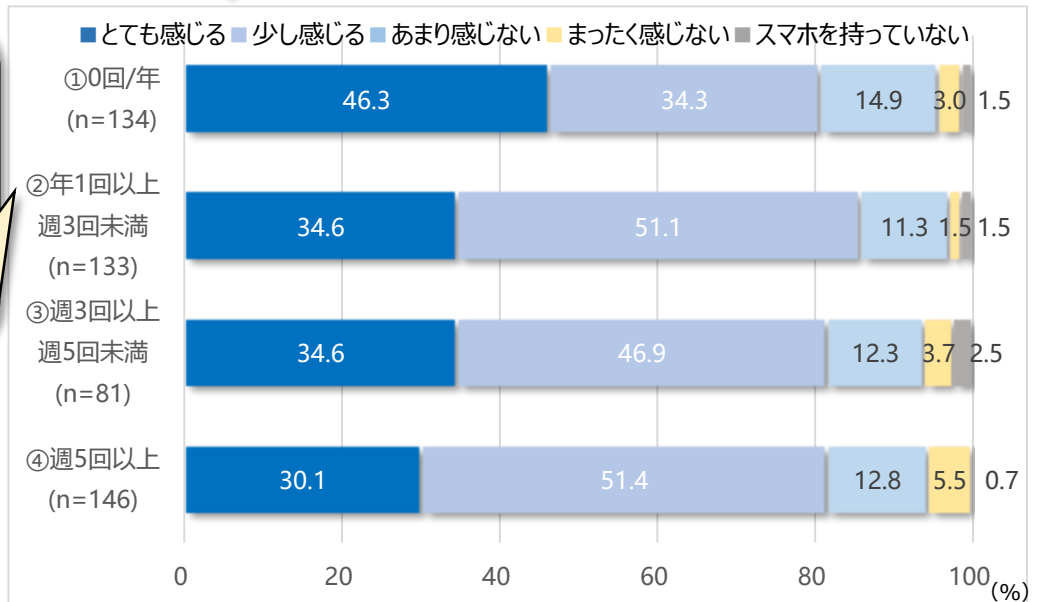
( ) 内は合計値

どの程度運動・スポーツをしますか？

①0回/年 ②年1回以上週3回未満 ③週3回以上週5回未満 ④週5回以上

スマホ不安×運動・スポーツ実施頻度

運動・スポーツ実施頻度が高くなるほどスマホ不安をととても感じる回答した人の割合が減っています。若い世代のスマホ不安と運動・スポーツ実施頻度は関連していると推察できます。



スポーツライフ・データを分析することで、身近な問題や課題はスポーツと密接な関係があることを発見できます！  
「興味のある分野×スポーツ」で分析をしてみませんか？



◇笹川スポーツ財団はスポーツライフ・データのローデータを無料で貸し出しています◇

URL : <http://www.ssf.or.jp/research/data/tabid/207/Default.aspx>